

令和2年産 美里地区の稲作情報

宮城県美里農業改良普及センター

第3号 令和2年6月12日発行

TEL:0229-32-3115 FAX:0229-32-2225

http://www.pref.miyagi.jp/site/misato-index/



1. 気象経過

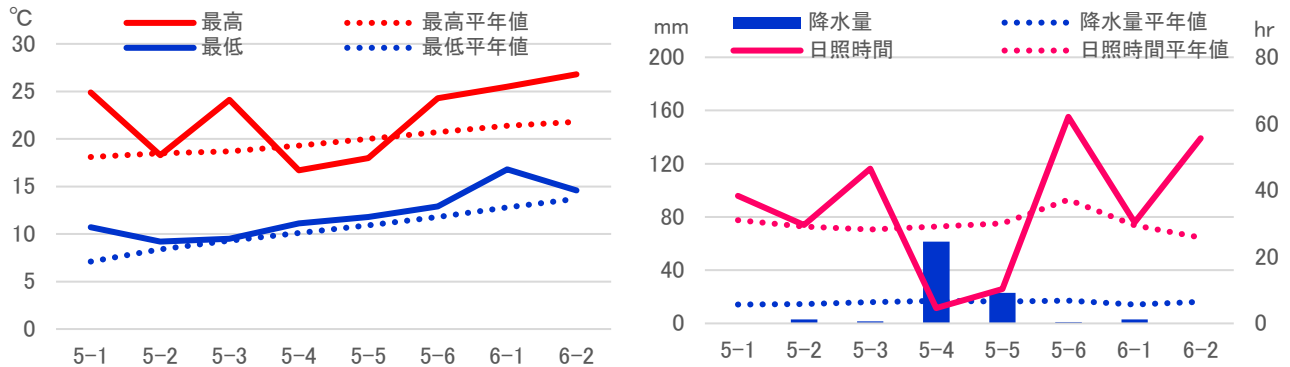


図1 半月別気象経過（鹿島台アメダス）

表1 5月・6月半月別の気象経過（鹿島台アメダス）

期間	平均気温		最高気温		最低気温		降水量合計		日照時間合計	
	本年値 (°C)	平年差 (°C)	本年値 (°C)	平年差 (°C)	本年値 (°C)	平年差 (°C)	本年値 (mm)	平年比 (%)	本年値 (時間)	平年比 (%)
5月計	15.6	1.4	21.2	2.0	10.9	1.2	90.0	96%	191.4	105%
6月第1半月	20.2	3.4	25.5	4.1	16.8	4.0	3.0	21%	30.4	103%
6月第2半月	19.8	2.4	26.8	5.0	14.6	0.9	0.0	0%	55.7	216%

*5月第6半月から6月第2半月にかけて、平年と比べて気温がかなり高く推移しました。

*6月11日に梅雨入りが発表されました（前年より4日遅い、平年より1日早い）。

2. 管内生育調査ほの生育概況

気温が上昇し、生育は順調に進んでいます

表2 生育調査結果

調査地点	品種	区分	田植日	栽植密度 (株/m ²)	6月1日調査結果			6月10日調査結果				
					草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)	
移植	涌谷 (小谷地)	ひとめぼれ	本年値	5月10日	18.9	25.3	78	5.7	26.3	189	7.6	41.7
			前年比・差	2日早い	101%	97%	104%	0.0	77%	94%	0.1	100%
			平年比・差	2日早い	107%	105%	78%	-0.1	91%	96%	0.4	104%
	田尻 (桜田高野)	ひとめぼれ	本年値	5月9日	16.3	24.7	93	5.6	30.0	173	7.6	39.5
			前年比・差	3日早い	104%	98%	112%	-0.3	105%	86%	-0.1	92%
			3ヶ年平均比・差	4日早い	101%	101%	111%	-0.2	104%	97%	0.4	99%
	鹿島台 (木間塚)	ササニシキ	本年値	5月11日	15.6	20.1	119	4.9	26.6	254	6.8	39.0
			前年比・差	3日早い	90%	69%	84%	-1.9	80%	63%	-1.9	95%
			平年比・差	4日早い	87%	73%	100%	-1.0	81%	88%	-0.6	96%
	鹿島台 (木間塚)	だて正夢	本年値	5月24日	18.8	15.8	73	3.6	31.7	68	5.6	32.7
			前年比・差	11日遅い	89%	61%	82%	-2.0	93%	30%	-2.1	73%
			3ヶ年平均比・差	11日遅い	91%	66%	79%	-1.8	99%	36%	-1.3	78%
南郷 (和多田沼)	金のいぶき	本年値	5月4日	16.3	26.0	67	6.3	28.4	183	8.3	40.7	
		前年比・差	1日遅い	100%	96%	55%	0.6	90%	58%	0.7	93%	
直播	小牛田 (荻埜)	萌えみのり(湛水点播(鉄))	本年値	5月11日	20.4				20.1	65	3.9	
			前年比・差	2日早い	109%				97%	158%	0.6	

※平年値は過去5年間の平均値。過去平均は5年未満の平均値。

- *草丈：田尻「ひとめぼれ」以外のほ場では、前年および平年・過去平均と比べて短い
- *茎数：前年および平年・過去平均と比べて少ない
- *葉色：「ひとめぼれ」はほぼ平年並
- *葉数：「ひとめぼれ」は前年並で、平年・過去平均よりやや多く、生育が進んでいる

3. 今後の栽培管理

【水管理】

茎数確保のため、水深2～3cmの浅水管理を行って、分けつの発生を促しましょう。
ガスの発生が多いほ場では、一時落水して酸素を供給し、その後間断かん水を行いましょう。

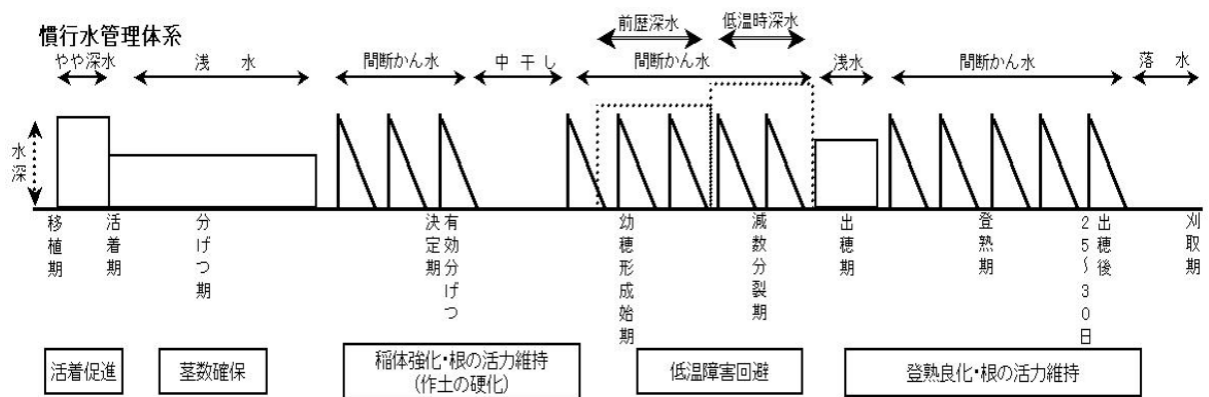


図1 基本的な水管理体系

【病虫害防除】

○いもち病

6月6日に広域的に葉いもち感染好適条件が出現しています（BLASTAMによる推定）。

箱施用剤による予防防除を行っていない場合は、各種水面施用剤を防除適期（6月中～下旬）に散布しましょう。予防防除を行った場合でも、発病が見られたら茎葉散布剤で速やかに防除しましょう。

まだ苗が残っているほ場があります。速やかに処分しましょう！

○斑点米カメムシ類

畦畔や農道などで、主要加害種であるアカスジカスミカメの越冬世代成虫が見られます。今後水田周辺のイネ科雑草に定着するとみられます。

畦畔や農道、雑草地、休耕田等のイネ科雑草は、斑点米カメムシ類の増殖源となります。

計画的な草刈りを行い、カメムシ類の増殖を抑えましょう。

また、イヌホタルイ多発田においても、アカスジカスミカメの密度が高まります。

残草が目立つ場合は、中期・後期除草剤等により追加防除を実施しましょう。